

平成28年度に向けた警察本部の施策の基本方針

「安全安心を誇れる徳島県の実現」

平成27年12月定例会(付託)
総務委員会資料
公安委員会

I 徳島県警察が目指す姿 ~H30年

「**刑法犯認知件数**」11年連続減少
「**人身交通事故発生件数**」10年連続減少

指数上の治安は改善基調

体感治安の向上 ~県民に信頼される「力強い警察」を目指して~

犯罪抑止対策

街頭犯罪発生件数
H25 **2,044件** 対比で抑止
特殊詐欺被害額
H25 **約5億4千万円** 対比で抑止

交通事故抑止対策

交通事故による
死者数
30人以下

警察施設整備

民間資金等の活用
及び
長寿命化の推進

II 警察活動基盤の強化 ~更なる部門横断的な組織体制の構築~

刑事司法制度改革への対応

◆ 部門横断的な指導体制の強化

特殊詐欺への対応強化

◆ 増加する特殊詐欺の撲滅に向けた
予防・検挙体制の強化

人身安全関連事案等への対応強化

◆ ストーカー・DV事案等の対処体制の強化

優秀な人材の確保・育成

◆ 採用募集活動の強化
~効果的な情報発信活動~

◆ **女性警察官**の採用・登用の拡大
~女性警察官の採用の拡大~
H27 5.7% → H29 7% → 10%
~女性を対象とした採用活動「女子会」の活用~
~従来の枠組みを超えた人事配置~



統合の成果や県民ニーズを受けた大綱方針の策定

警察署の更なる
再編整備

行政サービスの改善
(免許サブセンターの設置等)

交番・駐在所の
施設整備の在り方

III 三つの「重点施策」

1 生活安全の確保と犯罪捜査活動

◆ 県民の安全・安心を確保するための取組

- ◎ 特殊詐欺への対応強化
- ◎ 人身安全関連事案への対応強化
- ◎ サイバー空間の安全確保
~サイバー捜査官の育成~
- ◎ 新技術の利活用 ~UAVの活用等~

◆ 犯罪抑止に向けた取組

- ◎ 暴力団排除意識の高揚
- ◎ 繁華街・歓楽街等の安全・安心の確保
~改正風営法施行に伴う指導取締りの更なる推進~

◆ 犯罪検挙力の強化に向けた取組

- ◎ 広域犯罪対策の強化

2 安全かつ快適な交通の確保

◆ 交通事故抑止に向けた取組

- ◎ 交通事故統計の活用による安全対策の推進
- ◎ 体系的な教育による交通安全思想の普及
- ◎ 改正道路交通法の着実な推進
~自転車の安全利用の促進~
~高齢運転者対策の推進(認知症対策)~
~新たな免許制度(準中型)に対する取組~
- ◎ 悪質・危険ドライバーに対する取締りの強化

◆ 交通環境の整備

- ◎ 安全・安心な交通環境の整備
~LED信号機など安全施設の整備・更新~
- ◎ 道路管理者等との情報共有・連携



3 災害対策の強化

◆ 対処能力の強化

- ◎ 関係機関等との連携による、南海トラフ地震などの大規模災害を想定した訓練の実施
- ◎ 大規模災害時緊急支援員(181人)
災害情報協力員(156人)の効果的運用

◆ 災害に強いインフラ整備

- ◎ 警察施設の耐震化・防災機能の強化
~「新防災センター(徳島東警察署)」の着実な整備~
- ◎ 情報収集能力の更なる向上
- ◎ 緊急輸送路等の確保
~信号機停電監視機能~
~静止型非常用信号機電源付加装置(リチウムイオン)~